



## 5月24日、25日 東小学校で農業体験 農業を地域の「先生」から学ぶ

東小学校で農業の体験授業が行われました。3年生の授業(24日)では、地元農家の石井謙次さん(南内出)、角田真樹さん(南内出)、石井和樹さん(南内出)が来校。こんにゃく芋の植え方を指導しました。子どもたちは種芋や木子を交代でサクに植えていきました。

5年生の総合的な学習(25日)では、加藤定男さん(常木)の田んぼで田植えを体験。田んぼの感触を確かめながら、加藤さんの指導で手で稲を植えました。体験した和南城凜希さんは「田植えは難しかったけど、柔らかい土に慣れてきたら楽しかった」と話していました。



こんにゃく芋をサクに植えていく(3年生)



田んぼの感触を確かめながら進む(5年生)



苗を丁寧に手植え(5年生)



種芋を受け取る(3年生)



## 4月20日 第二保育園 園児が野球を体験

第二保育園で、野球教室が開かれました。

この日、同園を訪れたのは、昭和イーグルス保護者会長の高橋進さん(椽久保北部)と、コーチの茂木大輔さん(根岸)。4歳児と5歳児の園児たちは、丁寧な手ほどきを受けてボールを投げたり、ボールをバットで打ったりし野球に親しんでいました。

指導した高橋さんは「みんな一生懸命取り組んでくれて、上手な子もいました。興味を持ってもらい野球人口が増えてくれたら」と話していました。



コーチの指導で野球に親しむ園児たち



## 4月15日 横浜市役所で村をPR 村の特産品を楽しんで

村と友好交流協定を締結している横浜市の横浜市役所新庁舎2階のショップ「ヨコハマ メモリーズ」に村の特産品を販売するコーナーが5月18日まで設置されました。

販売コーナーでは、村産の特産物を使った加工食品がずらりと並び、訪れる人へのPRとなっていました。株式会社あかぎチキンの高橋幸一郎さん(吹張)は「昭和村の魅力を横浜市民に知ってもらい、コロナ禍が落ち着いたら観光に来てほしい」と話していました。



村の加工食品が並んだ販売コーナー



## 5月25日 新型コロナワクチン接種 村保健センターで集団接種始まる



ワクチン接種を受ける高橋さん

65歳以上の方向け新型コロナウイルスワクチンの集団接種が、村保健センターでスタートしました。

初日は午後1時に受付開始。来場者は検温と手指消毒、予診票の確認と医師の問診を受けた後、ワクチン接種を行いました。接種後は経過観察を経て、接種済証を受け取り2回目のワクチン接種の予約を確認しました。

接種した高橋和子さん(入原)は「最初は心配していたけど、思ったよりすぐに終わった。スタッフの方々が親切に対応してくれた」と話していました。



入口で検温と手指消毒



医師による問診



接種後は15分程度の経過観察

## 5月20日 第一保育園 旬のイチゴでおやつ作り

第一保育園の5歳児が旬のイチゴを使ったおやつ作りを体験しました。

園児たちは、先生方の丁寧な指導でイチゴや食パンを包丁を使って慎重にカット。チョコレートや生クリームを使い、フルーツもトッピングして甘くておいしいケーキが完成しました。

園児たちはケーキを口いっぱい頬ばり「おいしい」「また食べたい」「楽しかった」と大喜びしていました。



慎重な手つきでイチゴをカット

## 4月20日 昭和中学校で地域学習講演会 ふるさと発展の成り立ちを学ぶ

昭和中学校で1年生と3年生を対象に「地域学習講演会」が開かれ、赤城北ろく土地改良区事務局長の小池和弘さん(松ノ木平第一)と、村議会事務局長の島田宏充さん(三ッ谷)が講師として登壇しました。

小池さんは、水の乏しかった村の大地を潤す農業用水の大切さや維持管理への取り組みについて説明し、島田さんは、統計データからみた村の概要や、村の基幹産業の農業、誘致が成功し村に進出した企業などについて紹介。生徒たちは熱心に耳を傾けていました。



壇上で説明する小池和弘さん(左)と島田宏充さん